

住民の大切なものを守るために

人任せではなく地域の一員として、そして消防団員として「いち早く駆け付ける」を心掛けながら活動に携わっています。2021年に山内町で発生した「丹波篠山市大規模火災」を教訓とし、管轄内の安全点検も強化しました。自営業をしながらなので、家族の支えがあってこそ取り組むことができる活動も多いです。

消防団の課題は何よりも「後継者不足」。高齢化も進む中、自治会の理解も得ながら、地域全体で新規団員の確保が必要な時代です。住民一体で防災意識を高め、安全安心のまちをつくらせていきたいです。

市民の皆さん、冬は特に火災が多い季節です。火の取り扱いに、十分気を付けてください。



第10分団(篠山) 山本佳宏分団長



消火栓の点検



小学校での消火体験



小学校での煙体験

地域をつなぐ消防団
何よりも、地域のコミュニティを大事にしたいです。住民の命を守ることを最優先としながら、普段の生活の中で、住民や団員と顔を合わせ、心を合わせ、コミュニティの輪を高めることで、防災に役立てていきたいと思っています。団員それぞれが地域を思い、仲間意識を持ち続ける消防団でありたいです。



第5分団(日置) 内藤敏分団長(左)、後藤亮治副分団長

消防団員の使命感
消防団員になり、メリットはあっても、デメリットを感じたことはありません。消防団員になるまでは、地元との付き合いが薄かったのですが、消防団員になることで地元とのつながりが広がり、充実感が増しました。また、地域の消防団員としての使命感のもと、「地域を守る」というやりがいを感じています。



リポーター 畑弘恵さん

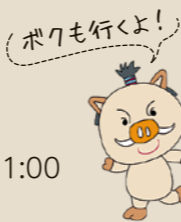
自分や大切なものを守るために
有事の際、頼りになるのは、近所の方や消防団の皆さんです。紺とオレンジの消防服を見ると、安心感を覚えます。困ったときはお互い様。地域とつながることが、自分を守る最大の防災活動です。自分や地域、大切なものを守るために、あなたも消防団員として活動してみませんか。

丹波篠山市消防出初式

市民安全課 ☎552-5117

表彰などを行う式典の後、屋外での一斉放水、そして今年は消防車両と写真が撮れるコーナーを設けます。

とき 1月12日(日)
時間 一斉放水=11:40~11:45
フォトコーナー=10:00~11:00
場所 篠山城跡三の丸広場周辺



自分たちのまちは

自分たちで守る!

丹波篠山市消防団



出初式の様子

災害は、いつどこで起こるか分かりません。地域には、有事の際にいち早く駆け付け、住民の安全を守ってくれる「消防団」がいます。今回は、私たちの安全安心な生活になくてはならない、まちの消防団についてお伝えします。

問い合わせ 市民安全課 ☎552-5117



消防団の重要性
消防団は、消防本部(消防署)とは別に、市町村が設置する消防組織で、市には21の分団があり、1178人が団員として在籍しています。団員の多くは普段、他の仕事をしていますが、火事や自然災害発生時には消火、救助、広報活動などを行い、住民を守るという役割を担います。
団員は日ごろの訓練で、災害発生時には即時に対応できる能力を培っています。2年に1回行われる「操法大会」は、技術力を高めるとともに、現場で自分が怪我をしないようにするための訓練としても重要です。
また、高齢者宅への防火指導や土の積みなどの防災対応にも携わっています。以前、台風直撃の際、高齢者住宅に、地域の消防団員から心配やたらいつでも迎えに行くので、遠慮せんとや」と電話で安心できる声掛けがあったことを市民の方から伺いました。
火事の現場では、時には消防署員より早く消火活動を始め、避難誘導や交通整理、鎮火の見守りまで行います。消防団は、まちの安全に必要不可欠な存在です。



有事の際に駆け付ける

消火、避難誘導、事後警戒などの活動、行方不明者の捜索



防災、災害支援活動

地震や風水害といった大規模災害発生時の救助、警戒巡視、災害防除、避難所支援など



安全安心な地域づくり

小学校や地域での防災訓練、地域の安全見回り活動、消防設備の安全点検、年末警戒など